



ふきのとう

第37号

【発行】

社会福祉法人
秋田県社会福祉事業団

〒010-1412
秋田市御所野下堤五丁目1番地の1
TEL 018-889-8360 FAX 018-889-8361
HP <http://www.fukinoto.or.jp>
e-mail mail@fukinoto.or.jp

障害者支援センター御所野 年末お楽しみ会



【目次】

- P 6
 - P 5
 - P 4
 - P 3
 - P 2
- ・ 障害者支援センター御所野
 - ・ 高清水園
 - ・ 令和二年度退職者
 - ・ 令和二年度退職者
 - ・ 令和三年度新規採用職員紹介
 - ・ 指定管理施設の運営について
 - 表彰

★★★FACEBOOK 随時更新★★★
ホームページからも閲覧できます。
詳細は、コチラから↓

詳細は、コチラから↓



障害者支援センター御所野

障害者支援センター御所野では、季節に応じた楽しみみやスポーツレクリエーションを行っています。

今回写真と共に紹介するのは、年末楽しみ会でチンドン屋さんの演奏や握り寿司を楽しんでいる様子と、秋に行った風船バレーボール大会の様子です。

年末楽しみ会での握り寿司は利用者からの要望があり実現した企画でしたが、毎週でもやって欲しいと大変好評をいただきました。

風船バレーボールでは、参加者のみならず、見学している利用者や職員も大いに盛り上がり楽しんでました。

感染症流行のさなかではありますが、これからも可能な限り工夫を凝らしたイベントを利用者と一緒を考え、実施していきたいと考えております。



高清水園

『研修委員会の取り組み』

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業所外研修や他事業所の視察・見学を思うように実施することができませんでした。

そんな中でも学ぶことを諦めてはいけなないと、全職員を対象にどんな研修テーマについて学びたいのかアンケートを取りました。集計した結果を元に、事業所内研修をいかに充実させるかを検討しました。

座って学ぶスタイルだけでなく、虐待防止の寸劇を観てから意見交換し、いわゆるグレーゾーンについて考察したり、食事介助を受ける側の体験を通して、スプーンを口に運ぶタイミング等を身をもって感じたりする形の研修を取り入れました。また、自閉症スペクトラムの特性を学んだ後に、より良い支援について講習を行うなど工夫を凝らしました。

研修報告を確認すると概ね好評評価を得ており、それぞれの研修テーマについて

「理解が深まった」「さらに興味を持った」という声がかれました。今後実施する研修も職員が学びたいと思えるテーマを掲げ、研修運営に取り組みます。



令和2年度退職者



秋田県中央地区老人福祉総合エリア

所長 伊藤 千佳子

昭和・平成・令和と健康で勤め、無事定年退職を迎えることができました。育ててくださった諸先輩、支えてくださった仲間がいてくれたおかげと感謝しております。

三十三年を振り返ると、楽しかったことばかりが思い出されます。南部エリアでは、人はどう老いていくのかを教えていただきました。現在の法・制度では慣れ親しんだ場所で最後まで生活することは難しく、どんな生活を望むのか、医療やケアはどう選択するのか自分の意思を伝えておくことが重要となります。これからは経験を活かし、自分の将来設計をしていきたいと考えています。新型コロナウイルスが落ち着き、利用者様、職員が安心して過ごせる日が早く来ることを願っております。長い間ありがとうございました。



秋田県南部老人福祉総合エリア

管理事業課 上席技師 菅原 毅

南部エリア開設と共に採用となり今まで勤務することが出来ました。それまで福祉とは関連のない職場での経験しがなく、福祉とは、施設の種類のサービステクニックなど何もかもわからなままの勤務でした。

入居者・利用者様へ快適な環境を提供する職種ですが、未だに十分な環境を提供出来ているのか迷いがあるような状態です。周りの方々の支えなしにはここまでこれなかったと思います。それに対し日々法令等の改正があり、それに対応してサービステクニックを提供している職員の技術レベルの高さには感心するばかりです。今後高品質のサービステクニックを提供出来る事業団であり、益々発展を続けられるようお祈り致します。有り難うございました。



秋田県心身障害者コロニー

創生支援課 課長 渡辺 聖子

今では笑い話になりますが、福祉の世界と関わるようになったのは、父が亡くなりいつまでも不安定な状態ではいられず、介護福祉士の資格を取ればなんとか就職できると単純に思ったことがきっかけでした。親にも定職に就けないのではと心配された私が定年まで勤めることが出来たことは、何よりも利用者様の皆様や職員の方々ののおかげと、心より感謝しております。

これまで仕事を続けて特に有難いと思ったことは、思ってもみなかった自身を知る機会を沢山得たことです。この経験は宝物として大事にしたいと思っております。年々大変さが増す時代となっておりますが、利用者様の皆様のご健勝と、事業団の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。長い間、ありがとうございました。



秋田県心身障害者コロニー

開成支援課 支援係長 齋藤 孝二

昭和・平成・令和の三時代に渡って事業団にお世話になりました。コロニー勤務以外では二度転勤を経験しました。介護という言葉はまだあまり聞かない時代に採用になり、利用者の方々と楽しい生活を送っていました。今では介護中心になり大変な時代になったと感じています。最後の現場では就労Bの園芸を担当し、季節をより身近に感じながらの業務となりました。仕事で得た知識を生かして自宅でも園芸を楽しんでいます。種から育てた数百株の花が赤く色づいていた時の喜び。今後の楽しみにつなげていければと思っています。

ここまで、どうにか頑張れたのは関わりがあった皆様の支えのおかげだと感謝しています。ありがとうございました。



秋田県心身障害者コロニー

管理課 上席技師 天野 洋司

諸先輩方の技術と志や心意気を引き継いで、無事に定年を迎える事ができました。これもひとえに職員の方々の支えのおかげです。長年支えて頂き、ありがとうございました。在職中は色々な事が有りましたが、辛かった事は笑い話に、楽しかった事は良い思い出となっております。

在職中の皆さんに私から一言。昨今の社会情勢等、様々な要因で働き辛い社会になってきておりますが、そういう時こそ「置かれたところが今のあなたの居場所なのです。咲けない時は根を下へ下へ降ろしましょう。」という渡辺和子さんの言葉を噛みしめながら働いて欲しいものだと思います。



秋田県心身障害者コロニー

管理課 主査 高橋 正三

昭和五十七年四月から臨時職員・非常勤職員を含め、早くも三十九年が過ぎ、この年度定年退職を迎えることとなりました。利用者の方々の支え、早き諸先輩・同僚・周囲の方々に支えていただき勤めあげることができました。心より感謝申し上げます。

今でも時々思い出すことがあります。私が若い頃、職員宿舎で風邪の為、寝込んでいた時に利用者の方が窓から「心配で見舞いに来た」と言って食事を持って来てくれた事でありました。思い出した時に胸が熱くなります。今は亡き彼女にも感謝です。ありがとうございました。おわりに、利用者皆様のご多幸と事業団の益々の発展と職員皆様のご活躍を祈念申し上げます。

令和2年度退職者



由利本荘地域生活支援センター水林事業所
所長 三浦 朋子

昭和五十六年四月、まだ雪の残るコロニーに赴任した日のことを、今でも鮮明に思い出します。当時、二十歳の自分には、福祉の仕事は少し地味に感じられ「辞めたい」と思いながら毎日職場に向かっていました。そんな自分が、四十年と言う長きにわたり勤務させていただき、こうして定年退職の日を迎えられたことに感慨深いものがあります。

この間、沢山の出会いと別れがあり、喜びも失敗もありました。いつも利用者さんの真っ直ぐな笑顔に助けられてきたように思います。そして、ピンチの度に力になってくれた諸先輩の方々、無理難題にも全力で答えてくれた後輩の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

四月からは、人生初の専業主婦となります。また、どこかでお会いしましたら是非声を掛けてください。大変お世話になりました。



阿桜園
管理課 上席技師 成田 竹美

この度、定年退職を迎えることができ、ありがとうございました。皆様の支えがあったことと心から感謝申し上げます。

平成二年、南部エリアに採用となり、その後阿桜園の技師として過ごさせて頂きました。

これからも利用者の皆様の幸せと、途切れることのない現場で働かれる皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

本当にありがとうございました。



阿桜園
支援課 主査 石黒 優

平成九年四月に高清水園からスタートし、早二四年、もう定年退職を迎えるとは思っていませんでした。時は平成から令和に変わり、今思えば亡くなられた利用者の顔や退職された先輩の顔が走馬灯のように流れていきます。

その中でも、当時の上司から身体障害者訓練センターに異動してはとアドバイスを頂き、転勤したことを一番思い出します。就労支援で委託作業の開拓で営業したこと、納期に間に合わせるために利用者との黙々と作業をしたことが懐かしく感じます。

昨今コロナウイルスの感染拡大があり思うように支援が出来ませんが、努力は決して裏切らないことを胸に頑張っていくてくください。

拙い文面ですが、皆様のご健勝と健康を願い退職の挨拶とします。



障害者支援センター御所野
支援課 上席看護師 石川 司

平成三年四月に社会福祉事業団に採用になり、身体障害者更生訓練センターを経て新築移転にともない障害者支援センター御所野に勤務し、あつという間に三十年が経過していました。

最初の頃は、福祉施設と医療現場との違いに戸惑い、不安でいっぱいであった事が思い出されます。そんな不安も、いろいろな方々と知り合う事ができ、大変な事もありましたが、皆様に恵まれて助けて頂きながら、今日まで過ごす事ができたのだと改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

最後に、事業団の益々のご発展と皆様の今後のご活躍とご健勝を心より祈念申し上げます。



秋田県心身障害者コロニー
管理課 上席栄養士 遠藤 まゆみ

コロニーで採用していただき、退職もコロニーで迎えることになりました。家庭の事情で定年前の退職になってしまいました。三十数年と長い年月を事業団職員として勤務させていただきました。異動すること数回、その度に職員・利用者の方たちとお知り合いになることが出来ました。楽しい日々を過ごさせて頂きました。これからの人生も悔いの残らない日々を過ごせたらと思っています。

最後に事業団の益々のご発展とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

本当にありがとうございました。

○秋田県中央地区老人福祉総合エリア

技師 工藤 舞哉

○高清水園

主任 菊地 拓央

○秋田県心身障害者コロニー

主任 鈴木 綾子

支援員 加賀 真紀

支援員 三ツ井 悠介

○由利本荘地域生活支援センター

事務員 佐藤 史菜

○阿桜園

支援係長 尾留川 美和子

皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

令和三年度新規採用職員紹介

秋田県南部老人福祉総合エリア

養護老人ホーム 栄養士 福井 彩



「安心と豊かな生活をまごころで」という事業団のモットーを胸に刻み、利用者の方々が幸せな生活を送ることができるよう、心をこめて食事を提供していきたいと思えます。

高清水園

支援課 支援員 池田 緋翠



この度は採用して頂き有難うございます。分からない事出来ない事を少しずつでも確実に減らし立派な事業団職員になれるよう努めます。若輩者ではございますがご指導の程宜しくお願い申し上げます。

秋田県心身障害者コロニー

地域支援課 支援員 銭谷 健



学生生活の中で得た専門的知識を活かし、利用者本位の支援の提供を心がけたいと考えています。また、利用者の方とともに私自身が成長すること、より幅広い支援が実現できるように努力したいと考えています。

秋田県心身障害者コロニー

創生支援課 支援員 山下 聖羅



この度採用となりました、山下 聖羅と申します。出身は男鹿市で、学生時代に福祉について学びました。事業団職員として一つ一つの出会いを大切に、丁寧な対応ができるよう努めて参ります。よろしくお願ひします。

秋田県心身障害者コロニー

創生支援課 支援員 増村 悠斗



四月より正職員として採用となりました増村悠斗と申します。利用者の方一人ひとりに全力で向き合い、より良い生活を送れるよう日々考え、行動していきたいと思えますのでどうかよろしくお願ひいたします。

秋田県心身障害者コロニー

銀杏支援課 支援員 佐藤 穂乃香



四月より採用となりました佐藤 穂乃香と申します。利用者の方々から多くの事を学ばせてもらいながら、充実した生活を送ってもらえるような支援に努めたいと思えます。よろしくお願ひします。

秋田県心身障害者コロニー

赤光支援課 支援員 鎌田 美鐘



利用者の方々が自分らしく生活できるように、常にご本人の意思を確認し、気持ちに寄り添った支援を提供したいと考えております。職員の方々と利用者の方々から学ばせていただくという姿勢を大切に努めてまいります。よろしくお願ひいたします。

阿桜園

支援課 支援員 嵯峨 あかり



四月より採用となりました嵯峨 あかりと申します。利用者の方々に寄り添った支援ができる職員になれるよう、日々学び続けるという姿勢で精進してまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

やまばと園

支援課 支援員 木村 凌介



緊張や不安はありますが、大学で培った知識や技術を存分に発揮できるように自分らしさを忘れず、利用者の方々の生活を支えていけるよう日々精進して参ります。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひします。

指定管理施設の運営について

この度、秋田県より、老人福祉総合エリア及び点字図書館の指定管理者としての指定を受け、引き続き当法人で運営することとなりました。(指定管理期間：令和三～七年度)

老人福祉総合エリアは、体育館、入浴・休憩会議室、プール、老人ホームなどが一体となった複合施設で、お子様から年配の方まで幅広い世代に、ご利用いただいております。

また、点字図書館は視覚に障がいをお持ちの方に、点字図書や音訳図書などの情報提供をするとともに、視覚障がいや点字図書館についての理解促進にも取り組んでいます。

さて、今回は老人福祉総合エリアを中心に紹介させていただきます。北部・中央地区・南部の三エリアは、いずれもフリーWiFiを完備し、プロジェクトまたはインタラクティブボードを使用したオンライン会議にご利用いただけます。また、卓球、バドミントン、バスケットボール、テニス、水泳等様々なスポーツをすることができ、他、北部エリアは大滝温泉、中央・南部エリアは人工温泉付きの簡易宿泊所としてご利用いただけます。

南部エリアについては、老人ホームがあり、併設されたコミュニティセンターや居宅支援センター及び医療機関など様々なサポートが受けられることと美しい景観が強みとなっております。

老人福祉総合エリアへのお越しを職員一同お待ちしております。詳しい情報は、QRコードからホームページをご覧ください。



◆◆◆◆◆ 利用料金 ◆◆◆◆◆

利用料金の一部をご紹介します。
詳しくは、各エリアにお問い合わせください!!

【共通】

会議室	1時間につき	1,360円
宿泊	1人1泊につき	一般 3,140円 小学校児童 2,310円 幼児 1,150円
休憩	1人1回につき (お風呂)	一般 630円 小学校児童 310円

【北部エリア】

屋内運動広場	1面1時間につき	530円
テニスコート	1面1時間につき	310円

【中央エリア】

屋内運動広場	1面1時間につき	530円
屋内温水プール	1人1回につき	一般 530円 高校生等 370円 小中学生等 210円
緑地運動広場	1人1日につき	200円

【南部エリア】

屋内運動広場	1面1時間につき	450円
屋内温水プール	1人1回につき	一般 530円 高校生等 370円 小中学生等 210円



換気機能を搭載したバスでの送迎も!!



ゆったり、お風呂でお休みください!



様々なスポーツを楽しむ会場としてご利用ください!



中央エリアにインタラクティブボードあります!
コロナ対策された広い会場でオンライン会議を!

☆ 表彰 ☆

○厚生労働大臣表彰
(社会福祉事業従事功労者)

由利本荘地域生活支援センター
水林事業所
所長 三浦 朋子

○全国社会福祉事業団協議会表彰
(永年勤続)

阿 桜 園
主任 福岡 しずか

受賞おめでとうございます。